

2021年8月11日

パナソニック エコシステムズ株式会社

熱交換気システムの生産を強化

## 中国・順徳で換気などIAQ(室内空気質)<sup>(※1)</sup>機器の新工場が稼働

23年度20万台へ



【工場全景】



【源泉から完成までの一貫生産工場】

パナソニック エコシステムズ株式会社とパナソニック エコシステムズ広東有限公司は、中国の広東省佛山市順徳区に、換気を行う熱交換気システム<sup>(※2)</sup>、空気清浄機などIAQ(室内空気質)機器の新工場「順徳第一分工場」を建設し、本日、稼働、出荷を開始しました。中国におけるこの商品分野の工場としては2カ所目となり、熱交換気システムを今年度12万台生産し、23年度には20万台を目指します。

近年、世界的に、換気、除菌など空気質に対する関心が高まり、それに伴い、換気扇、熱交換気システム、空気清浄機などの需要が増大しています。当社は中国において既に、「順徳工場」でこれら空気質関連機器を生産していますが、旺盛な需要に対応するため、2020年7月より新工場の建設を進めてきました。

「順徳第一分工場」は、現有の「順徳工場」に近接し、敷地面積51,874 m<sup>2</sup>で、延べ床面積43,304 m<sup>2</sup>の3階建て。本工場における生産は、熱交換気システムや送風機器から開始し、22年度に創新システム(加湿・除湿機能とエアコンを連動させた新しい空質・空調システム)、23年度には水浄化システムへと拡大する計画です。生産した機器は、中国国内だけではなく、アジア、中東、北米、日本へも輸出し、グローバル生産拠点として展開していきます。

また、新工場は省エネに配慮した空調システムを導入し、今後はさらに、再生可能エネルギー(太陽光発電、燃料電池)の活用やエネルギーの見える化取り組みなどを推進し、パナソニックが目指す環境対応を加速させます。

パナソニック エコシステムズ広東有限公司は1993年に設立され、換気システム、空気清浄機、浴室用暖房換気乾燥機などIAQ(室内空気質)機器の主力生産拠点として事業を展開してきました。

開発機能や営業機能も備え、熱交換気システムは中国国内で、トップシェア<sup>(※3)</sup>を獲得しています。

当社は、「順徳第一分工場」の稼働により、中国国内だけではなく、グローバルに製品を供給し、新たな空質・水の価値を提供していきます。

## ■順徳第一分工場の概要

【会社名】パナソニック エコシステムズ広東有限公司

【名称】順徳第一分工場

【敷地面積】51,874 m<sup>2</sup>

【工場敷地面積】13,000 m<sup>2</sup>

【工場延床面積】43,304 m<sup>2</sup>

【投資額】約2億2千萬元(約30億円)

【生産品目】熱交換気システム、送風機器、創新システム、水浄化システム

【生産能力】2023年度 20万台(熱交換気システム)

【供給先】中国国内、アジア、中東、北米、日本

※1:Indoor Air Quality(室内空気質)の略。

※2:給気する外気の温度を、排気する室内の温度に近づけながら換気するシステム。

※3:2021年7月6日現在、当社調べ。

以上

プレスリリースの内容は発表時のものです。

商品の販売終了や、組織の変更等により、最新の情報と異なる場合がありますのでご了承ください。